

I 一般目標(GIO)

1. 女性特有の疾患による救急医療を研修する。
2. 女性特有のプライマリケアを研修する。
3. 妊産褥婦ならびに新生児の医療に必要な基本的知識を研修する。

II 行動目標(SBO)

1. 基本的産婦人科診療能力を身につける。
2. 基本的産婦人科臨床検査に習熟する。
3. 基本的治療法を習熟する。

III 研修内容

【研修方法】

1. 産科、婦人科、不妊領域を広く研修する。
2. 主として入院患者を担当し、手術や回診を中心とした診療を行う。
3. 指導医とともに外来診療、周産期管理、ARTを含めた不妊診療、夜間救急診療を研修する。
4. カンファレンス、症例検討会、勉強会などに参加する。

【研修プログラム】

1. 外来研修(産科、婦人科、不妊)
2. 病棟研修
3. 手術研修
4. 体外受精研修
5. 当直研修
6. カンファレンス
7. 症例検討会
8. 勉強会

IV 研修目標

【経験すべき診察法】

(1)問診および病歴の記載

- ①主訴
- ②現病歴
- ③月経歴
- ④結婚、妊娠、分娩歴
- ⑤家族歴
- ⑥既往歴

(2)産婦人科診察法

- ①視診(一般的視診および膣鏡診)
- ②触診(外診、双合診、内診、妊婦の Leopold 触診法など)
- ③直腸診、膣・直腸診
- ④穿刺診(Douglas 窩穿刺、腹腔穿刺その他)
- ⑤新生児の診察法(Apgar score、Silverman score その他)

【経験すべき臨床検査】

(1)婦人科内分泌検査

- ①基礎体温表の診断
- ②頸管粘液検査
- ③ホルモン負荷テスト
- ④各種ホルモン検査

- (2) 不妊検査
 - ①基礎体温表の診断
 - ②卵管疎通性検査
 - ③精液検査
- (3) 妊娠の診断
 - ①免疫学的妊娠反応
 - ②超音波検査
- (4) 感染症の検査
 - ①膣トリコモナス感染症検査
 - ②膣カンジダ感染症検査
- (5) 細胞診・病理組織検査
 - ①子宮膣部細胞診
 - ②子宮内膜細胞診
 - ③病理組織生検
- (6) 内視鏡検査
 - ①コルポスコピー
 - ②子宮鏡
 - ③卵管鏡
 - ④腹腔鏡
- (7) 超音波検査
 - ①ドプラー法
 - ②断層法(経膣的超音波断層法、経腹壁的超音波断層法)
- (8) 放射線学的検査
 - ①骨盤単純X線検査
 - ②骨盤計測(入口面撮影、側面撮影:マルチウス・グースマン法)
 - ③子宮卵管造影法
 - ④腎盂造影
 - ⑤骨盤X線CT検査
 - ⑥骨盤MRI検査

【経験すべき手技】

- (1) 処方箋の発行
 - ①薬剤の選択と薬用量
 - ②投与上の安全性
- (2) 注射の施行
 - ①皮内、皮下、筋肉、静脈、中心静脈
- (3) 副作用の評価ならびに対応
 - ①催奇形性についての知識

【経験すべき疾患、病態】

- (1) 頻度の高い症状
 - 1) 腹痛
 - 2) 腰痛
- (2) 救急を要する症状・病態
 - 1) 急性腹症
 - 2) 流・早産および正常産
- (3) 経験が求められる疾患・病態
 - 1) 産科関係
 - ①妊娠・分娩・産褥ならびに新生児の生理の理解
 - ②妊娠の検査・診断
 - ③正常妊婦の外来管理

- ④正常分娩第1期ならびに第2期の管理
- ⑤正常頭位分娩における児の娩出前後の管理
- ⑥正常産褥の管理
- ⑦正常新生児の管理
- ⑧腹式帝王切開術の経験
- ⑨流・早産の管理
- ⑩産科出血に対する応急処置法の理解

2) 婦人科関係

- ①骨盤内の解剖の理解
- ②視床下部・下垂体・卵巣系の内分泌調節系の理解
- ③婦人科良性腫瘍の診断ならびに治療計画の立案
- ④婦人科良性腫瘍の手術への第2助手としての参加
- ⑤婦人科悪性腫瘍の早期診断法の理解
- ⑥婦人科悪性腫瘍の手術への参加
- ⑦婦人科悪性腫瘍の集学的治療の理解
- ⑧不妊症・内分泌疾患患者の外来における検査と治療計画の立案
- ⑨不妊症の手術(腹腔鏡・卵管形成術など)への参加
- ⑩生殖補助技術(ART)の理解
- ⑪婦人科性器感染症の検査・診断・治療計画の立案

3) その他

- ①産婦人科診療に関わる倫理的問題の理解
- ②母体保護法関連法規の理解
- ③家族計画の理解